



総合学習センター 後期講座

受講者募集

誰にでもできる 記憶術入門講座

早く覚え、長く忘れず、いつでも思い出せる記憶術の入門講座です。あなたの人生を変える！かもしれない。

講師 金井 晃 先生

■日程 10/11 10/18 10/25 11/1 11/8
■時間 各木曜日 PM7:00~8:30 全5回

■場所 飯山市公民館 団体室 ■定員 15名程度

世界で1つだけのMy食器作り 手びねりでつくる洋食器・和食器

初めての方の陶芸教室です。

講師 千坂 経悦 先生

■日程 10/25 11/1 11/15 11/29 12/13
■時間 各木曜日 PM7:00~9:00 全5回

■会場 女性セブ-未来 創作室 ■定員 12名

■持ち物 ・エプロン ・手拭き
■教材費 ・粘土、釉薬代3,000円

百人一首で学ぶかな書道 & 手書きの年賀状

暮らしにも役立つ「かな文字」を学んでみませんか？好きな句を作品に仕上げましょう。年賀状の書き方も学びます。初心者も大歓迎です。

講師 小山 紅苑 先生

■日程 10/19 10/26 11/9 11/16 11/30 12/7
■時間 各金曜日 午後7:00~8:30 全6回

■場所 飯山市公民館 206教室 ■定員 20名

■持ち物 書道用具をお持ちの方はご持参ください。

女性限定 ブートキャンプ系エクササイズ

少しハードなエアロビクスにブートキャンプの動きを取り入れた教室です。ふだん運動をしないけれど、これを機に鍛えたい！という方向け。ブートキャンプに挫折したあなたのために、ユウコ先生がやさしく指導します。女性限定。

講師 高橋 祐子 先生

■日程 10/2 10/16 10/30 11/6 11/20 12/4
■時間 各火曜日 午後7:30~9:00 全6回

■場所 女性セブ-未来交流ルーム ■定員 20名程度

■持ち物 ・水分(飲み物)、タオル、運動靴
■教材費 1,000円程度(チューブ代)

■申込締切 9月27日(木)

気楽に楽しめる「和テイスト」

—普段着の着付けから抹茶のたしなみまで—

着れなかった着物が着られるように！抹茶の作法も一緒に学びます。

講師 浦野 文子 先生

■日程 10/16 10/30 11/6 11/20 12/4 12/18
■時間 各火曜日 PM7:00~9:00 全6回

■場所 飯山市公民館 和室 ■定員 15名程度

■持ち物 着てみたい着物一式
■教材費 菓子代1,000円程度

簡単・楽しい世界のおつまみ

—誰にでもすぐできる世界のお総菜—

イタリア・フランス・中国・日本。それぞれの料理の専門家に教わります。

講師 桂川 潔先生 藤沢 暢先生
西条智子先生 栗岩保子先生

■日程 10/31 11/14 11/28 12/5
■時間 各水曜日 PM7:00~9:00 全4回

■場所 女性セブ-未来 調理実習室 ■定員 20名程度

■持ち物 ・エプロン ・三角巾
■教材費 3,000円(4回分)

小粋な手ぬぐいで和の小物づくり

おしゃれな手ぬぐいを使って携帯電話ケースや手さげ袋、がま口(丸タイプ・角タイプ)を作ってみましょう。

講師 片桐 紅 先生

■日程 10/10 10/24 11/14 11/28
■時間 各水曜日 午後7:00~8:30 全4回

■場所 飯山市公民館 和室 ■定員 15名程度

■持ち物 ・裁縫道具・刺繍針・縫い糸
・ミシン(持ってこれる方)
・アイロン(持ってこれる方)
■教材費 3,200円

■受講料 4回講座：400円
5回講座：500円
6回講座：600円 (教材費等別途)

■申込期限 10月3日(水)
(ブートキャンプ系エクササイズ9/27(木))
(定員になりしだい締切)

■申込先 飯山市公民館 (TEL62-3342)

(申し込まれた方は、後日詳しいご案内をお送りします)

地区の話題

「生涯を楽しむ」

柳沢で観賞用の菊の栽培や歴史研究を楽しむ市ノ瀬條太郎さんを尋ねてみました。今回の取材では、堀之内沖にあった「くそ山」と名付けられていた古墳についてお話しいただきました。この「くそ山」、市ノ瀬さんらの研究によると足利尊氏に伝い鎌倉幕府倒幕で戦功をあげた武将で、桃井直常(ものゝいただつね)が葬られていたところだつたのかもしれないとのこと。直常はこの時代(南北朝時代)の英雄と称えられ

た武将でありますが、その期の地は歴史の暗黒時代といわれる中世史において、越中や上野(こうずけ)など各地にその名残があるようです。現在「くそ山」は土地改良などですっかり姿を消してしまっています。市ノ瀬さんは、大変残念に思っておられますが、その幾百年の歴史に思いを馳せ、研究を積み重ね、議論をすることが何より楽しみなのだそうです。



太田公民館主事 島崎

をお掛けしましたが、話をしてくださった市ノ瀬さんは今年で78歳。その表情にはこの上ない幸せが満ちあふれ、生涯を楽しむ姿がありました。

マイ★オピニオン

意見・私見

専門部員・集落館長になつて

柳原公民館専門部員 北川 和弘

本年度4月から柳原地区専門部員と上新田集落館長をやらせていただいております。8月末現在で、年間主要事業の3事業を実施しました。大勢の区民が参加する事業を主催する側の立場になつてみると、生半可な気持ちでは出来ない責任のある仕事と思ひましたし、今までやってこられた先輩方々のご苦労を改めて実感しました。今年度は萩原公民館長を始めとする、素晴らしい部員・主事の皆さんが居てくれます。心強い皆さんと共に残る事業を無事進めていければと思ひます。



また、集落館長としての仕事では、村内の活性化を図るべく地区事業の参加は勿論、村内独自の事業も先輩から引き続き積極的に実施しております。本年度は、村内の子供たちの要望もあり、「釣り体験教室」と題し、信濃町の釣堀で魚釣りを実施しました。毎年色々な所へ行き、子供たちも楽しみにしている事業です。今、集落には15人の子供たちが居ますが、この15人の子供たちが村を盛り上げてくれます。地区運動会も全員選手として頑張つてくれま

マイ★オピニオン

意見・私見

「私の集落」

兼業農家で村づくり

太田地区 小境 三ツ井 盈



私の集落は田圃65ヘクタール、畑20ヘクタール、戸数100戸の山沿いの集落です。戦後62年、世情の移り変わりを振り返ってみたいと思ひます。

田圃は圃場整備が進み大半が30アールになり、排水も整備され稲作経営は大型機械が入り、夢にまで見た経営が出来る様になりました。しかし、その後農政の貧困も手伝って、米あまりが続き不本意な転作が余儀なく実施され、加えて米価の値下がりや稲作経営は集約化の方向へと進み、その為農家の経営は他産業就労へと大きく転換しました。

その頃行政では、就労場所確保にと工場団地の造成を行いました。企業誘致に懸命になりましたが、諸般の情勢と雪国という自然条件が目的達成を足踏みさせました。そこで一つ提案ですが、

雪国という自然条件を考えたとき、へき地離島並みの仕事内容の企業誘致を考えるとみてはと思ひます。インターネット等通信事業の業務拡大に伴う受信集約事業です。就労場所の確保はこの地域の振興に大きなウエイトを持ちます。さて、今の集落は田圃や畑、きのこ栽培の専業農家が減少して、兼業農家が大勢を占めるようになり、総体的に生活が落ち着いたように思ひます。根気よく続けた公民館活動や生涯学習会、指導者育成講習会など社会教育学習事業が、老人会をはじめ各種のグループや数えきれない団体の育成強化に資することができたと思ひます。私のところでは、区・公民館・各種委員会が先頭になって、区民総参加の事業を計画、戦後途絶えた秋祭や盆踊りが復活し、生き生きとした爽やか集落が今活躍しています。